

平成28年度 小平市公共施設マネジメント市民会議ニュース

VOL.1 平成28年5月14日

第1回 小平市公共施設マネジメント市民会議

- 日時：平成28年5月14日(土曜) 午後2時～午後4時
- 場所：福祉会館 小ホール
- 概要：① 開会
② 自己紹介
③ 市からの説明
④ 自由意見交換
⑤ 閉会



市では、将来の人口減少や施設の老朽化など、公共施設を取り巻く環境の変化を見据え、平成27年12月に、これからの公共施設の大きな方向性を示した公共施設マネジメント基本方針を策定しました。基本方針に沿った具体的な取組を推進するため、(仮称)公共施設適正配置実施計画などを策定するにあたり、市民の皆さんの声をお聴きし、意見交換を行う市民会議を開催しています。



市民会議の様子



市からの説明の様子



意見交換の様子

今回の市民会議では、市民と行政、そして市民同士でも活発な意見交換ができるよう、輪になるように椅子を配置しました。主な意見は裏面のとおりです。



裏面につづく



市民会議で出された主な意見



1 コミュニティ、まちづくりの視点から、公共施設をどうすべきか。(意見交換のテーマ)

- ・学区によって少子化の状況が異なる。学区ごとにコミュニティを考えてはどうか。
- ・防災の視点を入れるべきである。
- ・小平市の特徴は土地がたいら（平）であり、移動の自由度が高い。建物の設計の面でも制限が少なく自由度が高い。地理的な特徴をうまく生かせば小平市独自の方策が取れる。
- ・空き店舗を活用し、まちの中に公共的な空間を確保してはどうか。新しく施設を建てるより、今あるまちなみを生かすべきである。
- ・地域の人口密度を考えて、公共施設の適切な再配置を検討してほしい。
- ・施設を建てる際は、コンクリートではなく土壁構造の建物かどうか。建物を建てる段階から市民と共同作業をすれば、地域の結束・コミュニティの形成につながる。コストも削減でき、施設にも愛着がわく。
- ・特に若い世代が利用したくなるような魅力的な公共施設を整備してほしい。公共施設マネジメント基本方針に掲げる「わくわく」感につながると思う。
- ・民間事業者は、クラウドコンピューティングを活用して情報データをインターネット上に保存するなど、資産を持たず、経費化できている。今後は、行政は施設を保有せず、民間事業者に任せてみてはどうか。

2 その他の意見

- ・行政の縦割りを排除してほしい。例えば、子ども広場、児童館や地域センターなどの併設施設の管理を縦割りでなく、一元的な管理をするよう進めてほしい。
- ・時代ごとに状況は変化する。計画の中では見直しの考え方も入れるべきである。
- ・広報について、ポスターやチラシを商店街、駅やコンビニエンスストアに掲示してもらうなど、工夫をしてほしい。市民もできることは協力する。
- ・市民会議で出る意見が有効となるようにしてほしい。



【お問合せ】

小平市 企画政策部 行政経営課

〒187-8701 小平市小川町2-1333

TEL 042-346-9756 FAX 042-346-9513

メールアドレス gyoseikeiei@city.kodaira.lg.jp